

英 語 科

入間川浩侑己
唐木澤 竜二

阿部 知之
Nanami Mimura

柳澤 征之
Damien Lavizzo

齊藤 優

1 目指す生徒の姿

豊かな社会を切り拓こうとする自立した学習者

2 全校研究テーマ

「キャリア×STEAM」の学習による、新たな価値を創造できる資質・能力の育成

3 英語科における「新たな価値を創造できる資質・能力」の捉え

| | | |
|--|--|--|
| ア 問題発見・解決能力 各教科等の「見方・考え方」を自在に働かせ、本質的な問いを見いだすこと | イ 批判的思考力 多面的・多角的に考察し、よりよい解決方法を見いだすこと | ウ 自分のよさや可能性を認識し、その力をさらに伸ばしたり、社会に生かそうとしたりする力 自己の生き方を尊重できること、他者を尊重し多様な他者と協働できること、社会貢献したり持続可能な社会を創造しようとする |
| 必要な情報を捉えること | 得られた情報や考えを、選択したり吟味したりすること | 国際的視野に立って、相手に配慮をしながら社会に向けて自分の考えを発信すること |

4 英語科における全校研究テーマの受け止め

中学校学習指導要領(平成 29 年度告示)解説外国語編第 1 章第 2 節の改定の趣旨には「グローバル化が急速に進展する中で、外国語によるコミュニケーション能力は、これまでのように一部の業種や職種だけでなく、生涯にわたる様々な場面で必要とされることが想定され、その能力の向上が課題となっている。」と示されている。

本校英語科では、コミュニケーション能力の向上を図るために、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築する中で、より適切な言語材料を用いて外国語で表現し伝え合うことが大切であると考え。そのために、以下の課程を繰り返し行うことが大切であると考えた。

- ・ 目的や場面、状況等に応じた課題を発見し、学習の見通しをもつ。
- ・ 自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりする。
- ・ 課題の解決に向けてやり取りや共有の中で、課題に向けた新たな考えや表現に気付く。
- ・ 新たな気付きを基に情報や考えを再構築する。
- ・ より適切な言語材料を用いて自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりする。

このような学習の課程を積み重ねていくことで、「新たな価値を創造できる資質・能力」が育成され、「あさひのプロジェクト」においても、例えば、相手の意見を受けて自分の考えを伝えるディスカッションの場面で、英語科で育成された力が発揮されると考えた。

以上のことから、「学習指導要領」の具現と「新たな価値を創造できる資質・能力」を育成するために、令和 5 年度の英語科研究テーマを以下のように設定した。

5 令和 5 年度 英語科研究テーマ

目的や場面、状況等に応じて、事実や考え、気持ちなどを伝え合う力を高める学習の在り方